

参加費
無料

日英
同時通訳



—テクノロジーで、新しい豊かさへ—



再生可能エネルギーの
技術的挑戦と将来展望

Head of department Jochen Bard

ヨッヘン・バード 物理学修士

フランホーファーIEE (エネルギー経済・エネルギーシステム研究所)
エネルギープロセス技術部門 ディレクター (部門長)



持続可能な環境・エネルギー・経済
—日独の気候変動政策を中心にして—

Prof. Seiji Ikkatai

一方井 誠治 教授

武藏野大学大学院環境学研究科長

一般財団法人 山岡記念財団

第二回 科学技術講演会 第1部

持続的な社会を目指すために～日本とドイツ ～再生可能エネルギーの有効活用～

第2部 学生懸賞論文表彰式 テーマ:持続可能な社会を実現するための再生エネルギーの技術対応とマネジメント 表彰:1席、2席

2018年3月17日(土) 13:00~16:00
(受付開始 12:30)
大阪工業大学 OIT梅田タワー
常翔ホール (3F)

主催 一般財団法人 山岡記念財団 〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町 1-9 梅田ゲートタワー 18F
Tel:06-7636-0219 Fax:06-7636-0212 E-mail:yamaoka-memorial@yanmar.com

お申し込み方法
山岡記念財団ホームページより
お申し込みください。
<https://yamaoka-memorial.or.jp>
ネットでお申込みの方は、12:15より優先入場して頂けます。
申し込み〆切:2018年3月15日12:00迄。



<https://yamaoka-memorial.or.jp>

後援



ドイツ連邦共和国総領事館



大阪ドイツ文化センター

一般社団法人 大阪日独協会



一般財団法人 山岡記念財団 科学技術講演会

主催 “一般財団法人山岡記念財団”とは

ヤンマー創業者山岡孫吉は、ドイツ、ルドルフ・ディーゼル博士が発明したディーゼルエンジンの小型実用化に成功し世界中にディーゼルエンジンを普及させました。そのため、創業以来ヤンマーグループは、ドイツの技術・文化への感謝の気持ちを現在も変わることなく継続しております。この感謝の念にもとづき、日本及びドイツ両国の文化交流を行い、社会の持続的な発展のために寄与することを目的としています。

講演会の目的

現在地球規模で問題となっている「温暖化現象」、「エネルギー」問題に関連して、国際社会の安定的な繁栄をどのようにすれば得ることができるのかを、資源循環型社会の形成に向けてこの分野で先進しているドイツと日本の研究者、学識経験者が論じます。

日本とドイツがこれらの課題克服に指導的な役割を果たすことのできる環境を醸成するとともに、日独の講演者による講演会を通じて、日本とドイツの文化交流を図ることで、参加者が両国の互いの状況を理解し関係を深めるための一助とします。

講演者紹介



ヨッヘン・バード 物理学修士

フラウンホーファー
IEE (エネルギー・経済・エネルギー・システム技術研究所)
エネルギー・プロセス技術部門ディレクター（部門長）

【最終学歴】

1995年 カールスルーエ工科大学 (KIT) 物理学部大学院修了
太陽光・太陽熱エネルギー用半導体材料、再生可能エネルギーのための結晶学及び電気工学

【研究職歴】

1995年-1999年 カッセル大学電気工学部電気エネルギー技術研究所
2000年-2009年 太陽エネルギー技術システム研究所 (ISET)
エネルギー変換・制御工学部門エネルギー変換グループ長
2010年-2017年 フラウンホーファー風力エネルギー・エネルギー・システム技術研究所 (IWES)
2010年-2011年：海洋エネルギー部門長
2012年-2014年：エネルギー変換・エネルギー貯蔵部門長
2014年-2017年：エネルギー・プロセス技術部門長
2018年 フラウンホーファーエネルギー・経済・エネルギー・システム技術研究所 (IEE、カッセル)
エネルギー・プロセス技術部門ディレクター

【専門委員等】

2000年-現在 カッセル大学及び他大学講師
2006年-2007年 地球変動に関するドイツ諮問委員会 WBGU (ベルリン)
調査アナリスト
2006年-2010年 国際エネルギー機関海洋エネルギー・システム履行協定副議長
2016年- 科学委員会メンバー：MAREI (アイルランド)、Super Gen Marine (英国) および WEAMEC (フランス)



一方井 誠治 教授

武藏野大学大学院環境学研究科長・教授
武藏野大学工学部環境システム学科教授
京都大学学際融合教育研究推進センター特任教授
京都大博士（経済学）

【略歴】

1974年 東京大卒経済学部卒業、環境庁入庁
1995年 環境庁環境計画課長
1997年 環境庁水質管理課長
1999年 環境庁地球環境部企画課長
2001年 環境省大臣官房政策評価広報課長
2003年 財務省神戸税關長
2005年 京都大学経済研究所教授
2012年 武藏野大学環境学部（2015年から工学部）教授
2016年 武藏野大学大学院環境学研究科長

【公的委員等】

京都府独自クレジット認証委員会座長
三鷹市環境基金活用委員会会長
環境省環境経済研究審査委員

【著書・論文】

- Motivation of Japanese companies take the environmental action to reduce their greenhouse gas emissions: an econometric analysis. Sustainability Science Springer Vol.3(No.1).pp145-pp154 頁 2008
- ・低炭素化時代の日本の選択、岩波書店、2008年
- ・国民のためのエネルギー原論（共著）、日本経済新聞社、2011年
- ・日本経済読本20版（共著）、東洋経済新報社、2016年

交通アクセス

- JR「大阪」駅から徒歩5分
- 地下鉄御堂筋線「梅田」駅から徒歩5分 ●地下鉄谷町線「東梅田」駅から徒歩5分
- 阪急電鉄「梅田」駅から徒歩3分 ●阪神電鉄「梅田」駅から徒歩7分

大阪工業大学 梅田キャンパス OIT梅田タワー 大阪市北区茶屋町1-45

